

理数工学科の Q&A

学ぶ

□普通科目と専門科目の割合は、どのくらいですか。

普通科目が約75%で、専門科目が約25%です。理工系4年生大学進学に対応できる教育課程を取り入れています。

	1年	2年	3年
普通科目	10科目(24単位)	11~12科目(23~25単位)	5~7科目(15~19単位)
専門科目	3科目(7単位)	3~4科目(6~8単位)	4~6科目(12~16単位)

□どのような内容を学びますか。

1年次で履修する「工業技術基礎」では、「化学分野」「デザイン分野」「建築・土木分野」「機械分野」「電気分野」「情報分野」の6つの分野の実習を通じて、工業の基礎を学びます。また、普通教科の中でも特に「英語」「数学」「理科」に重きを置いた設定になっています。具体的には英語(18単位)、数学(18~20単位)、理科(16~18単位)を3年間で学びます。これは普通高校理系生徒が学ぶ単位数と同等以上を確保していることとなります。

文理選択はなく、1年生から理系に特化した課程のため、理数が好きで理工系大学進学を意識している生徒には適した学科です。

□男女比はどのようになっていますか。

男子の割合が多いですが、理系好きの女子も大歓迎です。

1年	男子37, 女子5	2年	3年
----	-----------	----	----

□どのような資格が取れますか。

「英語検定」「数学検定」の取得に力を入れています。理数研究部の活動においてこれらの取得のサポートをします。また、部員でなくても参加は可能です。工業の資格に関心があれば、工業系の資格にも挑戦できます。

□理数工学科の特色はどのようなものがありますか。

理数工学科独自のさまざまなプログラムを実施しています。

1 朝学習

週2回始業前の時間帯に、数学と英語の基本問題を演習しています。

「学習の習慣化」を目指し、まずは基礎の定着のためこつこつと努力します。

2 サテライン講座

大手予備校「代々木ゼミナール」の有名講師陣によるサテライン講座を土曜日に受講しています。普段の授業内容とリンクさせ、基礎から一步上の段階にレベルアップすることを目指しています。

(英語・数学各90分×20回)

3 月木7時間授業

工業の科目を履修しながら普通科目の授業数を確保するために、7時間授業を実施しています。

4 進路面談と効果的な学習環境

学年1クラス体制(少人数)のため、個々に応じた丁寧な進路指導ができます。定期的に行う進路面談で自分の弱点を探り、到達目標を定めていきます。また、教室の隣に自習室を設置し、いつでも勉強できる部屋を確保しています。その隣が理数科職員室でわからないところをすぐに質問して解決できます。学習の効率化とクラス内で学びあう相乗効果を目指します。

5 高大連携

「静岡大学実験実習講座」「浜松医大と医工連携(医学と工学のつながりを模索する)」「大学見学ツアー」などに参加して大学と連携しながら進路意識を高めていきます。

進路

どのような進路を目指していますか。

まだ新設学科で、実績はありません。目標は

国公立理工系大学

東京工業大学 名古屋工業大学 静岡大学 豊橋技術科学大学 信州大学など

私立理系大学

早稲田大学 名城大学 芝浦工業大学 東京都市大学 日本大学など

国立工業高等専門学校編入

沼津高専 豊田高専 小山高専など

課外活動

部活動との両立はできますか。

他の科に比べると普通教科の学習量が多く、理数工学科独自の行事がある中で、運動部との両立も大変な面があります。しかし、うまくやりくりし、両立している生徒も多くいます。

要は、大学進学に対する高い志を持ち、強い精神力と学習意欲が旺盛であれば、両立は十分可能です。